

Library

町生涯学習センター図書室からの9月のおすすめ図書

Library Information

図書室からのお知らせ

■本の貸出について

図書室では、新刊本や話題の本など、新しい本を入荷しています。

本のリクエストについても、図書室カウンターにて受け付けています。皆さんの読みたい本や気になる本などありましたら、お知らせください。

また、お探しの本などがありましたら、お気軽にカウンターにご相談ください。

● 図書室の利用や、図書の検索・リクエストなどについてのお問い合わせ先
町生涯学習センター図書室
☎096-234-2447 (内線331)

第165回直木賞受賞作品

澤田 瞳子 著 / 『星落ちて、なお』



文藝春秋

小説

不世出の絵師・河鍋暁斎が死に、これまで家の中で辛うじて保たれていた均衡が崩れた。一門の行末は、娘とよ(暁翠)の双肩にかかっているのだが…。父の影に翻弄されながらも、明治、大正と激動の時代を生き抜いた女絵師・河鍋暁翠の一代記。その数奇な人生を鮮やかに描き出した、読み応えのある1冊です。

女性が学ぶ道を切り開いた明治の教育者

津田塾大学津田梅子資料室 監修 / 『津田梅子』



集英社

児童書

2024年からの新五千円札の顔になる津田梅子。日本初の女子留学生として、6歳でアメリカに渡り、さまざまな文化にふれ、熱心に勉強しました。帰国後、それまで日本には無かった、女性が高いレベルの教育を受けることの出来る学校づくりに尽くしました。その彼女の人生を、わかりやすく漫画で紹介しています。

エンパシーが自己の可能性も開く

ブレイディ みかこ 著 / 『他者の靴を履く』



文藝春秋

一般書

意見の異なる相手を理解する知的能力「エンパシー」をめぐる思索の旅。負債道徳からジェンダーロール、自助の精神…現代社会の様々な思い込みを解き放つ！他者理解のエンパシーが自己の可能性も開くことに。「多様性の時代」を生きる私たちが、大切にしなければならない他者への尊重と理解を深く考えさせられる1冊です。

災害時にも、普段も役立つレシピ

今泉 マユ子 著 / 『免疫力アップレシピ』



清流出版

教養娯楽

高密度ポリエチレン製のポリ袋ひとつで調理ができる、簡単便利な「お湯ポチャ」のレシピブック。材料、作り方の他に、食材が持つ免疫力がアップする栄養素の説明、メイン食材の代用となる備蓄食材を紹介しています。簡単に作れて、食べておいしく、免疫力アップ！災害時でも、いつもの食事でも役立つ、おすすめの1冊です。

町生涯学習センター図書室のご利用について

■開館時間 午前9時～午後5時 ■休館日 毎週火曜日、年末年始 ■貸出冊数・期間 1人5冊まで、15日間

私が紹介する本は、坂口恭平さんの『お金の学校』です。『お金の学校』ってタイトルをただでワクワクしますよね。楽しそうです。

この本の、いや、この学校の好きなのは、表紙から最後の1ページまでワクワクが止まらないことです。『お金の学校』には期待通りお金とは経済とは何か、について坂口さんの持論が書かれています。

今月の案内人



西田 太陽さん
(町公営塾あゆみ学舎)

結論から言うと、『お金の学校』におけるお金、経済とは自分自身の健康です。

Read This Story!

～ My Favorite Story ～

私のおすすめ図書

『お金の学校』(坂口恭平 著 晶文社 出版)

流れがあれば、お金も人も仕事もすべて動き出す。鬼才・坂口恭平がすべてをさらけ出して伝える「幸福」への道。

どういことですかね、わかりませんよね。でも一度読めばきっとわかります。

様々な切り口から経済について語られていますが、結論は一貫して「気持ちよくなれ！」と書いてあるように思います。実際、この本自体が読んでいてめちゃくちゃ気持ちいいです。この本は300ページほどありますが、流れるように読めちゃいます。



気持ちよくなりたい、凝り固まっているすべての人にオススメしたい1冊です。

● あなたの「おすすめ図書」をご紹介しますませんか？

町生涯学習センター図書室

☎096-234-2447 (内線331)

Public Hall

町公民館からのお知らせ

▶ 自主文化事業のお知らせ

オータムコンサートを開催します

●開催日時

10月7日(木)
午後6時30分開演

●会場

町生涯学習センター・ホール

●入場料

無料

●出演

津軽三味線奏者 本田 浩平さん
ピアノ奏者 島田 かつやさん

新型コロナ対応のため、先着70人限定で開催します。観覧ご希望の方は、9月9日(木)からご予約を電話で受け付けますので、町教育委員会までご連絡ください。

- 公民館講座や町民大学などに関するお申し込み・お問い合わせ先
町教育委員会公民館事務局
☎096-234-2447(内線321)

町公民館子ども講座 シャボン玉作り

8月5日(木) 学童保育「ひまわりクラブ」で、子ども講座「シャボン玉作り」を行いました。

参加者した約10人は、毛糸、モール、ストローなど



▲手作りの輪っかでシャボン玉作りに挑戦する子どもたち

を使ってシャボン玉を作るための輪っかを手作り。食器用洗剤や洗濯のり、砂糖、水を混ぜたシャボン液を浸して、大きなシャボン玉作

りに挑戦しました。

子どもたちは、きれいなシャボン玉がなかなか思うようにできず、何回も挑戦。シャボン液の膜が張った輪っかをゆっくりと動かして、シャボン玉作りを楽しみました。コロナ禍で遠出が難しい子どもたちにとって、楽しい夏休みの思い出になりました。

町公民館自主講座

水彩画展示会

健康で豊かな生き方を応援するため町公民館では「公民館自主講座」を開催しています。

手工芸教室「水彩画」講座では、水彩画の初歩から応用までを学ぶことができます。現在10人が、静物や風景、草花などのテーマを

それぞれのペースで楽しく学んでいます。

▼講師 松井天一さん
(仁田子区)



▲会員の水彩画作品をぜひご覧ください。

■水彩画展示会のご案内

▼内容

水彩画講座では、会員の作品展示を行っています。

▼開催場所

町生涯学習センター・ギャラリーモール

▼展示期限

9月8日(水)

Human Rights

人権 ～心豊かに暮らすために～

■甲佐町学校人権教育部会 課題別研修会を開催

7月26日(月)分科会ごとの会場で、学校人権教育部会課題別研修会が開催されました。

同研修会は、同和問題をはじめとするあらゆる人権問題の解決に向けすべての町教職員の基本的認識を深めるとともに就学前から高等学校までの連携体制の構築を目的に、甲佐町学校人権教育部会が開催。

「進路保障・就学前教育」「自主活動・子ども会活動」「教育内容の創造」「いのちとくらし・共生の教

育」の4つの分科会に別れて実施し、町内の保育園の保育士や小・中・高等学校の教職員など90人が参加し、それぞれのテーマに沿った意見交換などを行いながら、人権教育の在り方を考えました。

参加者からは、「日常に常にある差別の小さな現実(発言・見方)を見逃さず、子どもが考え、見つめ直す切り返しの言葉かけがとても大切」「小・中・高校から各先生達が参加されており、学校間のつながりを意識できた。学校ごとの学級経営についても知ることができた」「参加されていた先生から多くの視点や

アイデアを頂いた。人権教育について、今後も学び続けていきたい」といった感想が寄せられました。



▲「教育内容の創造」について検討する参加者

- 人権に関するお問い合わせ先
町教育委員会社会教育課
☎096-234-2447(内線324)